

now on sale



# 日本保健医療社会福祉学会 書籍のご案内

タイトル	災害ソーシャルワークの確立！ スーパーアキュート・アキュート・ロングタームにおける支援の経験から ～日本医療社会福祉学会 2012.03.03セミナー報告～
発行年	2012年（平成24年）5月
内容	巻頭言 はじめに 第1章 スーパーアキュートにおけるソーシャルワーク 東日本大震災「安否確認情報提供支援」 第2章 アキュートにおけるソーシャルワーク 東日本大震災「広報搬送支援」 阪神・淡路大震災「避難所における支援」 第3章 ロングタームにおけるソーシャルワーク 阪神・淡路大震災「仮設住宅における支援」 第4章 東日本大震災における活動の中で 災害時のソーシャルワーカーに期待したこと
執筆者	第1章 セミナーシンポジウム講師（講演内容、スライド提供） 八島浩 伊藤茂樹 石巻赤十字病院 第2章 セミナーシンポジウム講師（講演内容、スライド提供） 八島浩 伊藤茂樹 石巻赤十字病院 第3章 武田加代子 天理大学 山本みどり 西陣病院 第4章 セミナーシンポジウム講師（講演からの抜粋） 小野沢滋 亀田総合病院
編者	相原和子 国際医療福祉大学 笹岡真弓 文京学院大学 新村郁子 榊原記念病院
金額	A 5版74頁 500円（税込/送料別）
発行の経緯	当学会では、2012年3月3日に「災害ソーシャルワークの確立！～石巻赤十字病院医療ソーシャルワーカーの活動を踏まえて～」というタイトルで、シンポジウムとグループワークのセミナーを行いました。 セミナーにおいては、シンポジウムにおいて東日本大震災および阪神・淡路大震災の時に医療ソーシャルワーカーの専門性がどのように活かされたのかという報告がされ、グループワークでは事例をもとにさまざまな検討がされました。特に現地のソーシャルワーカーが、より専門性を発揮できる環境をどのようにバックアップできるかということを考えさせられました。 私たちは学会として、阪神・淡路大震災および東日本大震災で実践されたソーシャルワークを検証し、「災害ソーシャルワーク」の確立をめざし、今後もおこるであろう災害時に医療ソーシャルワーカーがどう行動すべきかということをもとめる必要性を感じ、本書をセミナーの内容を再構成し、時間と共に変化するニーズをどうとらえ、援助を展開していくかということについてスーパーアキュート（超急性期）、アキュート（急性期）、ロングタームという切り口からまとめました。